

団体名 沖縄県立沖縄盲学校	連絡先 TEL : 098-889-5375 Eメール : xx350010@pref.okinawa.lg.jp
-------------------------	--------------------------------------------------------------

1 実践事項

タイトル：「県外盲学校と連携したオンライン遠隔合同授業の取り組み」

2 実践内容

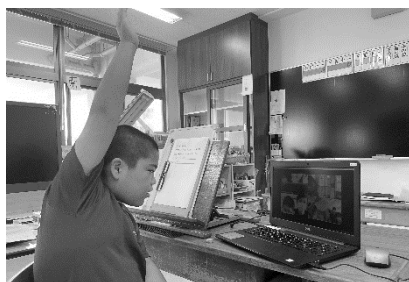
本校をはじめ、全国の盲学校では児童生徒数の減少に伴い、同じ障害のある友達と話し合ったり意見を交流したりするなどの集団で学ぶ機会を設定することが難しい現状にある。そこで本校小学部では、県外の盲学校2校（筑波大学附属視覚特別支援学校、千葉盲学校）とウェブ会議システムを活用したオンライン遠隔合同授業に取り組み、視覚障害のある児童同士が主体的・対話的に学び合える集団づくりを通して、視覚障害児童が自身の考えを広げたり深めたりできることをめざした授業実践に取り組んだ。

実際の授業実践に向けては、連携校の教員と事前の打ち合わせを行い、視覚障害児の見え方や特有の学び方に合った単元や題材を選定したり、話し合い活動を円滑に進めるための拡大資料や点字教材を作成したりして、年間を通した遠隔合同授業に取り組むこととした。

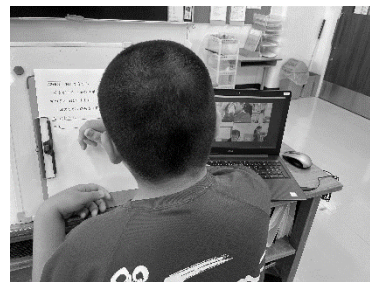
3 説明資料



感想を伝え合う活動（小4、国語）



互いが作成した問題を解きあう活動（小4、算数）



4 成果

5月から開始した遠隔合同授業は、12月末の時点で計12時間実施することができた。その結果、児童同士が積極的に話し合いを展開したり、友達の意見を聞いて自身の考えを広げたり深めたりする姿が見られるようになった。また、授業後の児童のふり返りシートの記述からも、友達の良さを見つけた記述や、一人では気づかなかった考え方を知ることができたという記述が見られた。また、休み時間の会話からは、互いの視力の程度や見え方について話し合う様子も見られ、気持ちを共有し合える友達が彼らにとって大きな存在であることを実感するなど、盲学校同士の遠隔合同授業の有用性が示唆された。

また本実践は、参加児童だけではなく、授業づくりに関わった教員にとっても良い効果を感じられるものとなった。児童と同様、盲学校の教員数も減少する中、これまで盲学校が培ってきた専門性を維持継承させていくことは、単独校のみでは限界もある。オンラインを介して、盲学校の職員同士が授業のノウハウや視覚障害を有する児童生徒に対する指導法を共有し、ともに授業づくりを行うことは、各盲学校が培ってきた視覚障害教育の専門性を共有し、維持継承していくことにつながると考える。

5 課題

- ・遠隔合同授業に取り組むための連携校をいかにして見つけるか。（プラットフォームの作成）
- ・継続的に取り組むための年間計画の作成と評価の観点の整理。